

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 2 月 2 日

福岡地方裁判所田川支部

裁判所書記官 黒 瀬 里 香

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 2 月 1 8 日から 令和 8 年 2 月 2 5 日まで
開札期日	日 時 令和 8 年 3 月 4 日 午前 1 0 時 0 0 分 場 所 福岡地方裁判所田川支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 3 月 2 3 日 午前 9 時 3 0 分 場 所 福岡地方裁判所田川支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則 33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 2 月 2 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
	買受可能価額（円）			固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	4,380,000 3,504,000	一括	876,000	184,583	0
1	820,000				
2	820,000				
3	2,740,000				

物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|-----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 福岡県田川市大字伊加利 |
| | 地 番 | 3 5 7 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 8 0 0 . 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 福岡県田川市大字伊加利 |
| | 地 番 | 3 5 7 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 8 0 0 . 0 0 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 福岡県田川市大字伊加利 3 5 7 番地 2、3 5 7 番地 1 |
| | 家屋 番号 | 3 5 7 番 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 9 6 . 5 8 平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 倉庫 |
| | 構 造 | 鉄骨造スレート葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 4 3 . 1 0 平方メートル |

物 件 明 細 書

令和 7年12月22日

福岡地方裁判所田川支部

裁判所書記官 黒 瀬 里 香

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1～3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号2】

隣地（地番357番3）との境界が不明確である。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|-----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 福岡県田川市大字伊加利 |
| | 地 番 | 3 5 7 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 8 0 0 . 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 福岡県田川市大字伊加利 |
| | 地 番 | 3 5 7 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 8 0 0 . 0 0 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 福岡県田川市大字伊加利 3 5 7 番地 2、3 5 7 番地 1 |
| | 家屋 番号 | 3 5 7 番 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 9 6 . 5 8 平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 倉庫 |
| | 構 造 | 鉄骨造スレート葺平家建 |
| | 床 面 積 | 1 4 3 . 1 0 平方メートル |

令和7年(ケ)第7号
令和7年 9月22日受理
令和7年10月23日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所田川支部

執行官 馬 場 敏 幸 (印)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 福岡県田川市大字伊加利
地 番 3 5 7 番 1
地 目 宅地
地 積 8 0 0 . 0 0 平方メートル
- 2 所 在 福岡県田川市大字伊加利
地 番 3 5 7 番 2
地 目 宅地
地 積 8 0 0 . 0 0 平方メートル
- 3 所 在 福岡県田川市大字伊加利 3 5 7 番地 2、3 5 7 番地 1
家屋 番号 3 5 7 番 2
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺平家建
床 面 積 1 9 6 . 5 8 平方メートル
(附属建物)
符 号 1
種 類 倉庫
構 造 鉄骨造スレート葺平家建
床 面 積 1 4 3 . 1 0 平方メートル

不動産の表示	『物件目録』のとおりに			
住居表示	(住居表示未実施)		付 近	
土地	物件 1, 2			
現況地目	☒ 宅地(物件 1, 2) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)			
形状	☒ 公図のとおりに ☐ 地積測量図のとおりに ☐ 建物図面(各階平面図)のとおりに ☐ 土地建物位置関係図のとおりに ☐			
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件土地に下記建物を所有し、占有している ☐ 『占有者及び占有権原』は執行官の意見のとおりに			
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は『目的外建物の概況』のとおりに)			
その他の事項				
建物	物件 3			
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:			
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積: }			
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件建物を住居として使用している ☐ 『占有者及び占有権原』のとおりに			
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は『目的外土地の概況』のとおりに)			
その他の事項	附属建物には従物等として天井走行クレーンが存在する。			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日]			
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおりに ☒ 土地建物位置関係図のとおりに			

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
☒ 田川広域水道企業 団企業長	本件建物の直近の水道供給契約内容は次のとおりです。 契約者氏名 A 契約日 平成15年6月2日 現在契約中
☒ 所有者	- 主たる建物には私を含め家族6人が住んでいます。 - 主たる建物内でペットを飼ったことはありません。 - 主たる建物及び附属建物には大きな損傷等はありません。 - 附属建物は農業用倉庫として使っています。 倉庫内には、大型の冷蔵庫2台、乾燥機2台、粃すり機1台があります。 天井走行クレーンは倉庫を建てたときに設置しています。 - 本件土地について、隣地との間で境界に関する紛争はありません。 私が所有する目的外土地（地番357-3）は本件土地と一体となって利用しています。同付近の大凡の境界は分かれますが、同付近に境界紙はありません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 本件土地は、公図のとおり、公衆用道路（地番 3 3 5）及び福岡県所有の道路（地番 3 5 8 - 1、地目は用恵水路）に接道している。
- 本件土地には現地復元性を有すると思われる図面が存在する。
本件土地と隣地との境界と思われる付近には縁石等が存在し、現地の形状等と上記図面の形状等はほぼ一致する。
ただし、隣地（地番 3 5 7 - 3）との境界付近には境界等を示す徴憑は認められず、同付近の境界は不明確である。
- 本件建物の占有関係は、関係人の陳述及び立入調査の結果から、2 枚目のとおりと認めた。
- 本件建物には経年劣化以外の大きな損傷等は認められなかった。
- 附属建物内には関係人の陳述のとおり的大型冷蔵庫 2 台、乾燥機 2 台、糶すり機 1 台（すべて動産）が存在する。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R 7年 9月25日 (木) 17:40 - 17:50	執行官室	ライフライン調査 (水道)
R 7年 9月25日 (木) 17:50 - 18:00	執行官室	建物図面請求
R 7年 9月29日 (月) 13:30 - 13:50	福岡法務局 田川支局	公図, 地積測量図, 建物図面等の調査
R 7年 9月29日 (月) 14:10 - 14:50	物件所在地	現地特定, 写真撮影 在宅依頼書交付
R 7年 10月20日 (月) 10:15 - 11:15	物件所在地	立入調査, 写真撮影 (所有者立会い)

(特記事項)

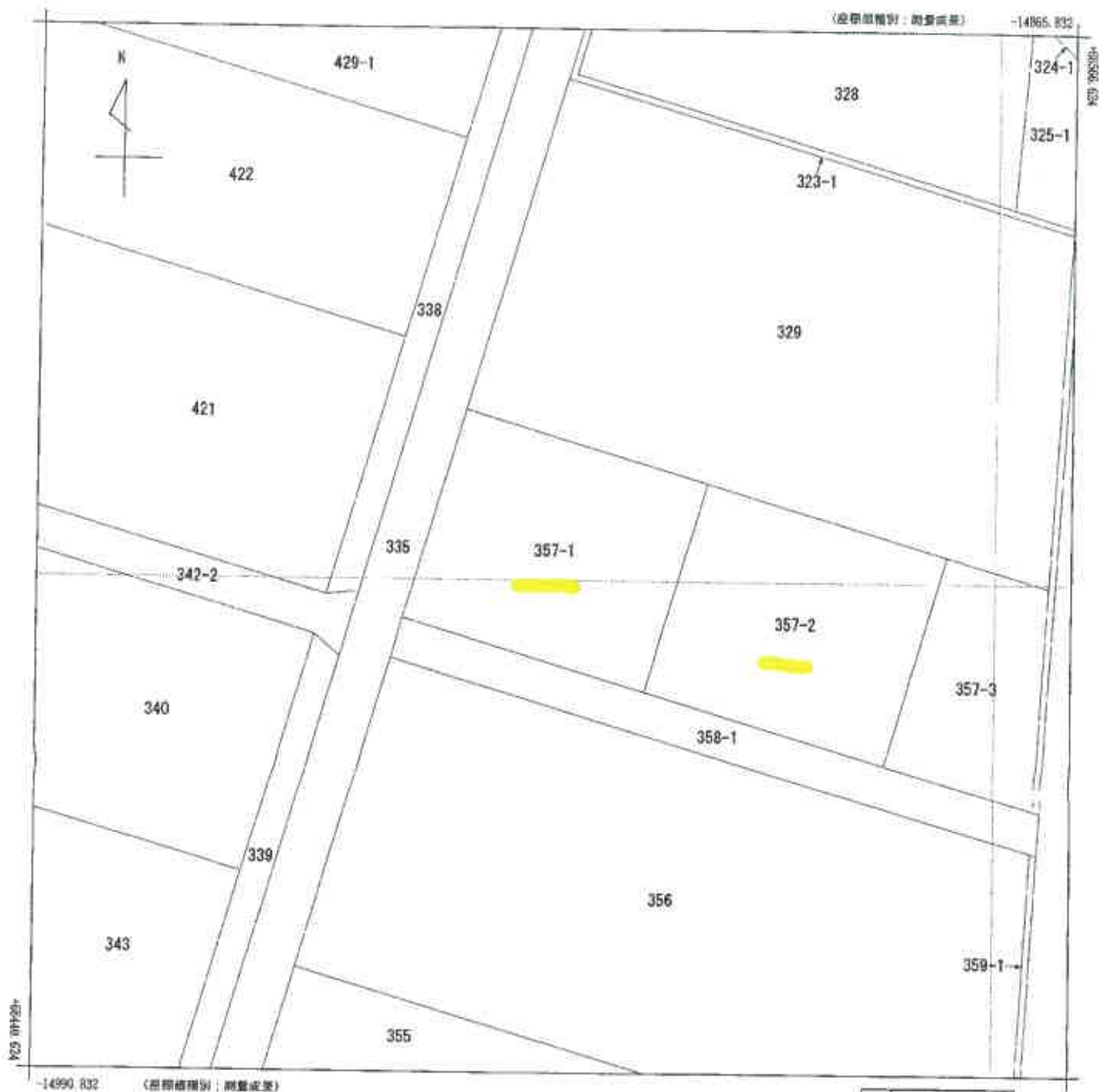
☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。

☐ 令和 年 月 日
目的物件入口は施錠されていたので, 立会人に立会わせて, 解錠技術者に解錠させて本件建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

☐

(注)チェック項目中の調査結果は,「■」の箇所の記載のとおり



地番区域見出
大字伊加利

請求分	所 在 田川市大字伊加利					地 番	357番1			
出力尺	1/500	精度区分	甲三	座標系又は 基準号は記号	Ⅱ	分期	地図(法第14条第1項)		種類	土地改良所在図
作成年月日	平成20年3月			備付年月日 (原図)	令和6年2月21日			補事記項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年9月29日
福岡法務局田川支局
登記官

請求番号：6-1
(1/1)

(6枚目)

A4判に縮小

公用

登記年月日：令和6年2月21日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年9月23日 福岡法務局田川支局

登記官

A 4 判に縮小

(7枚目)

請求番号：6-2

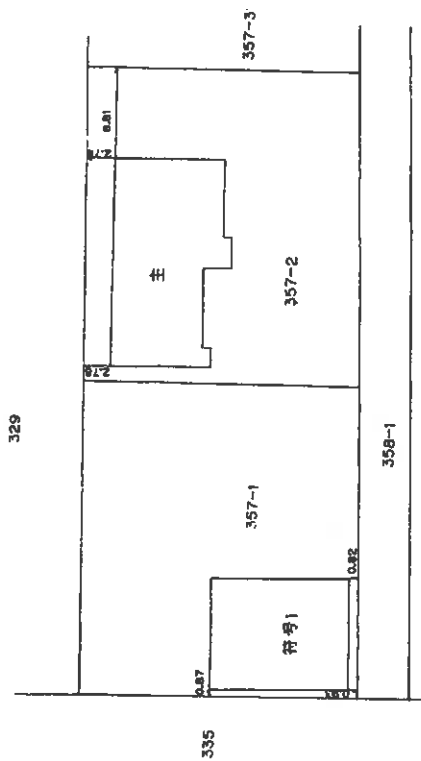
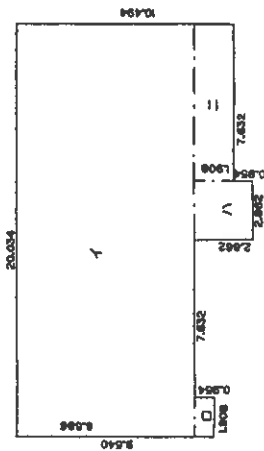
各 階 平 面 図

家屋番号 357番2

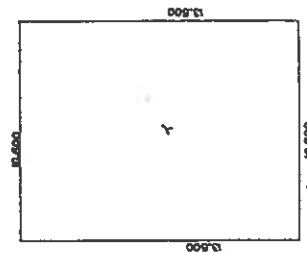
建 物 図 面

建物の所在 田川市大字伊加利357番地2、357番地1

主たる建物



附属建物 符号1



作成者

年月 10月作成

縮尺 1/500

申請人

縮尺 1/500

土地建物位置関係図

写真撮影位置方向

道路

附属建物符号 1

物件 1

電柱

道路

物件 2

物件 2

物件 3
主である建物

2

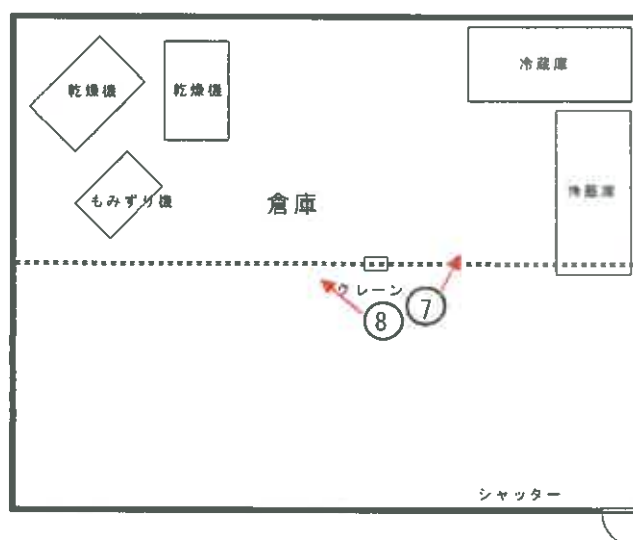
目的外土地357番3

(8枚目)

1



主である建物



附属建物符号 1



No. 1

本件建物の外観を撮影

主たる建物

附属建物



No. 2

本件建物の外観を撮影

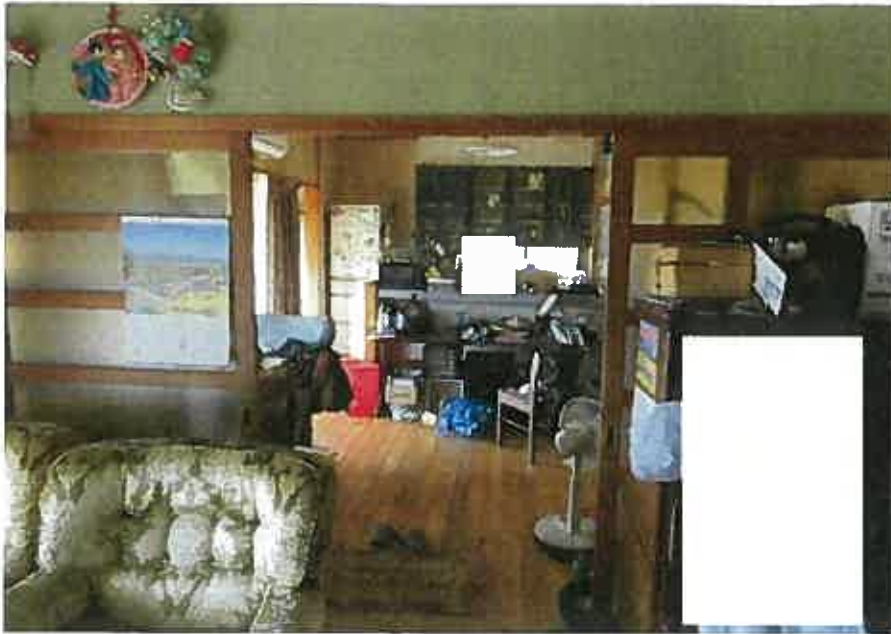
主たる建物



No. 3

本件建物の外観を撮影

附属建物



No. 4

主たる建物の室内を撮影



No. 5

主たる建物の室内を撮影



No. 6

主たる建物の室内を撮影



No. 7

附属建物の室内を撮影

大型冷蔵庫



No. 8

附属建物の室内を撮影

大型乾燥機

糸すり機

クレーン

No. _____

令和 7 年（ケ）第 7 号
令和 7 年 10 月 20 日 現地調査
令和 7 年 10 月 30 日 評 価

福岡地方裁判所田川支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

山崎 晃尚

印

第1 評価額

一括価格	
金 4,380,000 円	
内訳価格	
物件1（土地）	金 820,000 円
物件2（土地）	金 820,000 円
物件3（建物）	金 2,740,000 円

- ① 一括価格は、物件1～3の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件1・2の内訳価格は物件3のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件3の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。
- したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については、原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	田川市大字伊加利 357 番 1 宅地 800.00 m ²	特記事項のとおり
2	所 在 地 番 地 目 地 積	田川市大字伊加利 357 番 2 宅地 800.00 m ²	同上
3	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積 (附 属 建 物) 符 号 種 類 構 造 床 面 積	田川市大字伊加利 357番地2、357番地1 357 番 2 居宅 木造瓦葺平家建 196.58 m ² 1 倉庫 鉄骨造スレート葺平家建 143.10 m ²	同左
番号	特 記 事 項		
1・2	地積については、地積測量図がなく、また、建物が存する現地の状況等により正確に確認できないが、登記及び公図と現況が概ね符合するので、登記地積を採用して評価した。		
住 居 表 示	住居表示未実施		

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1・2一体）

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	J R日田彦山線「豊前川崎」駅の北東方、約2.8km。 コミュニティバス「赤子(丸山組前)」停留所の北方、約120m。 (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	田川市南東部にあって、農地の中に一般住宅や農家住宅が点在する住宅地域で、土地利用度は低い。田川市中心部や最寄り駅から離れており、不動産需要は少なく、今後も現状と同じような地域の利用状況が継続するものと予測する。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制	非線引き都市計画区域 用途地域の指定なし 70% 200% 防火地域及び準防火地域の指定なし
画 地 条 件	地 積 形 状 間 口 奥 行 接 道 関 係	1,600.00㎡ (合計登記地積) 長方形 (別添「公図(写)」参照。) 約61m 約26m 角地
接 面 道 路 の 状 況	南側で幅員約5mの舗装道路と等高～0.5m程度高位に接面。西側で幅員約5.5mの舗装道路と等高に接面。(両道路とも建築基準法上の道路に該当しない)	
土地の利用状況等	「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : あり ガ ス 配 管 : なし 下 水 道 : なし (注) 敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みが有る場合、「なし」とは引き込みが無い場合である。	

特 記 事 項	・ 接面する両道路は建築基準法上の道路に該当しないことから、目的土地における建築については、同法第43条第2項の許可が必要となる。許可の判断や具体的な条件については、買受希望者において確認する必要がある。 ・ 目的土地は、周知の埋蔵文化財包蔵地（伊加利条理跡遺跡）の隣接地であるため、建物の新築や土木工事により土地を掘削する場合には、埋蔵文化財包蔵地発掘の届出が必要である。試掘費用は行政で負担するが、本調査が実施された場合の発掘費用は原則として原因者負担となる。なお、戸建住宅や農地としての利用が標準的な地域であることから、埋蔵文化財包蔵地による特段の減価は必要ないものと判断した。 ・ 境界については「現況調査報告書」記載のとおりで一部不明瞭である。 ・ 上水道は東側の市道から目的外土地357番3（本件債務者兼所有者が所有）を介して目的土地に引き込まれている。 ・ 現地調査及び官公署における公表資料を調査した範囲では、土壌汚染をうかがわせる事実は認められなかった。 ・ 電柱が存する。
---------	---

2. 建物の概況及び利用状況（物件3）

区分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：平成14年7月5日 新築 経過年数：約 24 年 経済的全耐用年数：約 25 年 経済的残存耐用年数：約 1 年
仕様	構造：木造平家建 屋根：瓦葺 外壁：モルタル吹付け ほか 天井：ビニールクロス貼、化粧合板 ほか 床：フローリング、タタミ ほか 内壁：ビニールクロス貼 ほか 設備：電気、ガス、給排水設備（個別浄化槽）等 その他：特記なし
床面積（現況）	未登記の増築並びに滅失部分はなく、登記上の床面積とほぼ同様である。
現況用途等	現況用途：居宅 間取り：7LDK （別添「間取図」参照。）
品等	使用資材：普通 施工状態：普通
保守管理の状態	普通 （概ね経年並みの状態）
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特記事項	建物に付属する各種設備については、動作確認までは出来ないため、使用可能かどうか不明である。

区 分	附属建物符号 1
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日（登記記載）：平成10年8月1日 新築 経過年数：約 28 年 経済的全耐用年数：約 35 年 経済的残存耐用年数：約 7 年
仕 様	構造：鉄骨造平家建 屋根：スレート葺 外壁：鋼板張り 天井：アラワシ 床：土間コンクリート 内壁：アラワシ 設備：電気、天井クレーン
特 記 事 項	・附属建物符号 1 は農業用倉庫として利用されており、保守管理の状態は経年並みである。 ・建物に付属する各種設備については、動作確認までは出来ないため、使用可能かどうか不明である。 ・附属建物符号 1 については、建築確認の事跡を確認することはできず、建築基準法に抵触する可能性がある。 ・屋内には農業用資材・機材が存する。

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1・2）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	9,040	0.50	800.00	0.90	3,250,000
2	9,040	0.50	800.00	0.90	3,250,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。（以下同じ）

ア 標準画地価格：基準地「大任(県)ー4」の公示価格等を規準として査定した。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{公示価格等} & & \text{時点修正} & & \text{標準化補正} & & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 9,850\text{円/㎡} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{109} & = & 9,040\text{円/㎡} \end{array}$$

◇ 時 点 修 正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇ 標 準 化 補 正：補正要因なし 1.00

◇ 地 域 格 差：街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
1.01 × 0.95 × 1.20 × 0.95 = 1.09

イ 個 別 格 差：地積過大 角地 道路の種別 上水道の
0.60 × 1.02 × 0.90 × 0.95
一部境界不明瞭 個別格差
× 0.95 = 0.50

※ 道路の種別による格差は、建築基準法上の道路に該当しないため、建築制限を受けることを考慮した。

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：建物と敷地との適応の状態、将来発生する解体費用等を考慮した。

(2) 建物価格（物件3）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。附属建物についてはクレーンが存することも考慮した。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ
3 (主)	166,000	196.58	0.11	3,590,000
3 (附)	90,000	143.10	0.16	2,060,000
合計				5,650,000

ウ 現価率：（定率法）

減価修正にあたっては、耐用年数に基づく方法のうち定率法を採用し、それにより求めた現価率を基本として、これに観察減価法による補正を施して現価率を査定した。

$$(主) \quad R \frac{n/N}{\times (1 \pm q)} = 0.11 \times 1.00 = 0.11$$

$$(附) \quad R \frac{n/N}{\times (1 \pm q)} = 0.16 \times 1.00 = 0.16$$

項 目 \ 物件区分	物件3 (主)	物件3 (附)
R : 残価率	10%	10%
n : 経過年数	約24年	約28年
N : 経済的全耐用年数	約25年	約35年
q : 観察減価法による補正率	0%	0%

* 観察減価法による補正率は、保守管理の状態等を考慮。

2. 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

(1) 土地利用権等価格

番 号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	3,250,000	0.30	法定地上権	980,000
2	3,250,000	0.30	法定地上権	980,000
計				1,960,000

イ 土地利用権等割合： 土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を30%と査定した。

(2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格の 控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市場 修 正 オ	評 価 額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	3,250,000	－ 980,000		0.60	0.60	820,000
2	3,250,000	－ 980,000		0.60	0.60	820,000
3	5,650,000	＋ 1,960,000	1.00	0.60	0.60	2,740,000
一 括 価 格 (合 計)						4,380,000

ウ 占有減価修正： 修正の必要は無い。

エ 市場性修正： 農業用倉庫を含む規模の大きな物件であり需要が限定されること、倉庫が建築基準法に抵触している可能性があること等を考慮した。

オ 競売市場修正： 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

基準地標準価格：基準地「大任（県）－4」
所 在：田川郡大任町大字大行事4005番3外
住 居 表 示：住居表示未実施
価 格：9,850 円/㎡（対前年変動率 0.0%）
価 格 時 点：令和7年1月1日
地 積：507 ㎡
地 域 の 概 要：中小規模の一般住宅が建ち並ぶ県道沿いの住宅地域
接 面 街 路：北西側幅員約7m 県道
供 給 処 理 施 設：水道
位 置：JR日田彦山線「豊前川崎」駅の北東方、道路距離3.1km。
用 途 指 定 等：準都市計画区域 用途地域の指定なし
(建ぺい率70%、容積率200%)

第7 附属資料の表示

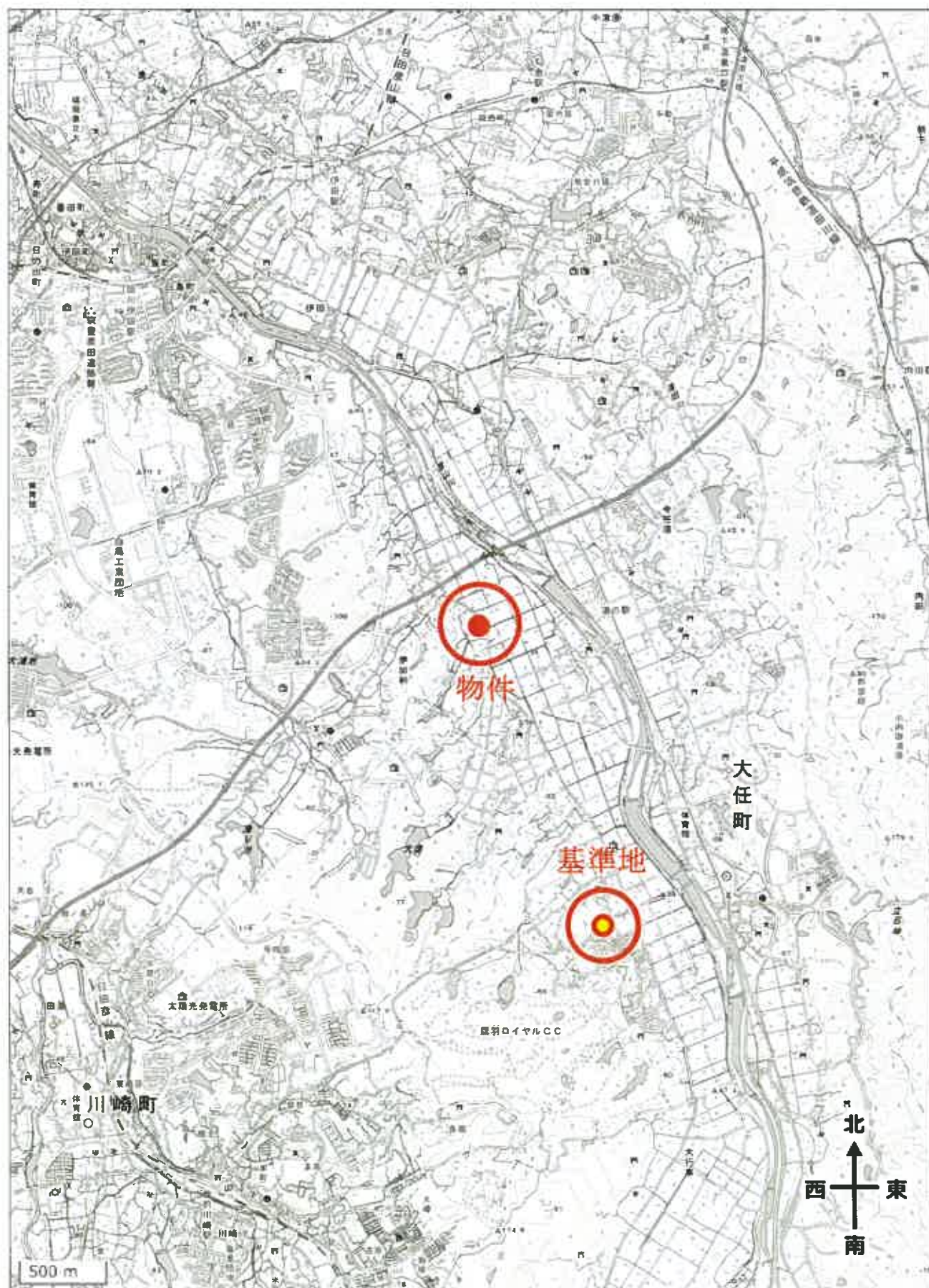
1 位置図	2 葉
2 公図（写）	1 葉
3 建物図面・各階平面図（写）	1 葉
4 土地・建物位置関係図	1 葉
5 間取図	1 葉
6 写真撮影位置図	1 葉
7 現況写真	1 葉

（B I T用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照）

以 上

地理院地図

GS Maps



「国土地理院 電子地形図（タイル）」より引用

